

## 授業概要

環境会計（Environmental Accounting）とは、企業や組織が自然環境に対する経済的な影響や資源利用を定量的に評価し、経営・投資判断や持続可能性の向上に活用するための会計手法である。授業では、ESG 投資に焦点を当て、関連する環境会計のキーワード、理論と実践スキルを考察し、実際の企業事例を取り上げながら、その実態や諸課題について理解を深められるよう講義する。授業の専門知識を応用し、自らの視野と可能性をさらに広げることを期待する。

## 授業計画

第 1 回	授業の狙い、全体像、進め方、評価方法および受講上の注意点
第 2 回	環境にかかわる課題：気候変動、生物多様性、廃棄物問題
第 3 回	CSR/CSV、トリプルボトムライン、ESG 課題
第 4 回	企業行動憲章、CG、非財務情報開示、ISO
第 5 回	ESG 投資の現状
第 6 回	ESG 投資の種類
第 7 回	ESG 投資と関連銘柄の特徴
第 8 回	中間まとめ（前半までの授業内容の振り返り、復習問題・解説）
第 9 回	グリーン成長戦略と脱炭素経営、サーキュラーエコノミー
第 10 回	業界別の環境取り組みと補助金制度
第 11 回	脱炭素にかかわる非財務情報：CDP、TCFD
第 12 回	グリーンボンド、グリーンローン、トランジションファイナンス
第 13 回	総合演習（1）
第 14 回	総合演習（2）
第 15 回	期末まとめ（後半の授業内容の振り返り、復習問題・解説）
第 16 回	期末試験（持込可）

## 到達目標

- 環境会計論の基礎知識を理解し、関連分野の現状、特徴や諸課題について説明できる。
- 環境会計論の知識を応用し、自らの視野と可能性を広げることができる。

## 履修上の注意

- 授業計画（テーマや順番など）は変更になることがある。
- 授業開始から 30 分までは遅刻として受講を認める。（遅延証明や体調不良等の証明がある場合を除く）
- 遅刻 3 回で 1 回の欠席扱いとし、無断欠席が累計 6 回以上の場合、単位付与は行わない。

## 予習・復習

- 予習：次回授業で取り上げるテーマについて予習や情報収集を指示する。
- 復習：前回授業で学習した内容の復習問題と解説を定期的実施する。

## 評価方法

- 平常点：70%（授業内リアクションペーパーの提出をもって総合評価する）
- 期末試験：30%（配布資料やノート等は持込可）

## テキスト

- テキストの指定はしない。毎回授業資料を配布する。
- 授業ごとのテーマに沿った参考文献等は適宜紹介する。